



たるい未来トーク

町 長

早野 博文



未来を担う

垂井の若 者 たち

今年度二十歳となったみなさんと早野町長の対談「たるい未来トーク」を今年も実施しました。
未来を担う若者の視点から、今の垂井町やこれからの垂井町、自分自身についてそれぞれの考えを町長と語り合いました。



清家 祐さん



船濱僚太さん



田邊玄晟さん



酒井立菜さん



小林七海さん



園田隼斗さん



吉田琉翔さん



永井亜実さん

垂 井町の未来はどうなるだろう。二十歳となり、それぞれの将来に向かって突き進む8人の若者たち。中学卒業後、異なった道を歩みながらも故郷垂井町へ愛着を持つみなさんに、理想と現実を交えながら思いを語ってもらいました。

町長…あけましておめでとうございます。今日はみなさんが考える今の垂井町のことを若いみなさんの感性で気楽にお話いただきたいと思います。

垂井町の好きなところ

町長…みなさん垂井町の好きなところはありますか？友人や垂井町以外の人たちにPRするならどんなことをPRしますか？

田邊…私は垂井町で育ってよかったと思っています。子どもが遊べる場所がたくさんありますし、自然も豊かです。飲食店やスーパ、コンビニなどもあって生活がしやすいのが垂井の良いところだと思います。

酒井…私は自然豊かなところが好きです。現在町内の企業で働いていますが、お客さんと話していると「相川の桜がきれいだね」などよく話題になります。

清家…私も自然豊かなところが好きです。大学に通うときに垂井駅を利用していて相川の近くを通ります。春にはこいのぼりが泳いでいて、その風景が好きですし、見ると気持ちが高ぶります。

町長…垂井町にはJ・Rや国道が通っていて、ほかのまちにはない魅力があります。

町長…垂井町には製造業の企業が多く立地していますが、都会に比べると働く環境が整っていないのかもしれませんが。

園田…結婚については、毎月の広報を見ていて多いという印象を受けています。子育てについても、垂井こども園が建設されるなど、力を入れていると思いますが、力を入れて取り組んでいるということに住民が知る機会が少ないと感じます。情報発信はどのようにされていますか？

町長…町のホームページを令和4年度にリニューアルした際に、子育てに特化したサイトを制作しました。こども園や支援制度を掲載していますのでぜひご覧ください。

小林…私は大学で幼児教育について勉強しています。勉強していると、子育ての課題には、お母さんになる人たちを支援できる制度や相談できる場所が少ないと聞きました。



今から70年前に合併し、先人たちの尽力によって現在の垂井町があります。当時は、国道を中心に工場が進出し、急激に成長してきました。みなさんもぜひSNSなどを活用して、垂井町の良いところを宣伝してもらえたら嬉しいですね。

どんなまちになったらいい？

町長…垂井町がどんなまちになったら良いと思いますか？

酒井…私の子どもの頃は、よく相川児童公園や清水公園で遊んでいましたが、もう少し遊具があると良いと思います。

船濱…私の子どもの頃は、もっと子どもたちが公園で遊んでいて活発な印象でしたが、現在は公園に草が茂っているところもあり、公園で遊ぶ子どもが減っている気がするので寂しいです。

田邊…私は現在垂井町から出て一人暮らしをしています。時々垂井町に帰ってくる時、やっぱり垂井町がいいなと感じます。欲を言えばおしゃれなカフェなど、若い世代の人たちが集える場所があると、ここに居続けたいと思うのではないのでしょうか。

町長…公園については、もっと整備して欲しいとの意見をいただいています。

しかし、30〜40年前は公共施設が多く建てられていましたが、現在は建物の老朽化やニーズの変化で使われなくなっているのが現状です。古くて使われないなら壊してしまえと思うかもしれませんが、壊すにも費用がかかります。これはどの自治体にも抱える大きな課題です。

おしゃれなカフェがあるといいのは私も同じ考えです。ただし、経営者は、利益を出せるか市場調査をする必要があります。都会と事情が全く違いますが、垂井町の豊かな自然は東京や名古屋では味わうことができます。

吉田…子育てというお金がかかるイメージ。2人3人欲しいと思っても、経済的に叶わない人が多いと聞いたことがあります。経済的なサポートがあると良いのではないのでしょうか。

町長…結婚感についてどうですか？若い女性の方が地方から都会へ出て行く現象が続いています。

吉田…都会に出て行くということは、働く場所が関係しているのではないのでしょうか。垂井町で結婚して住みたいと思うならには、働く場所や環境の整備が重要だと思います。

結婚や子育てについて

町長…垂井町は「子育てファーストタウンたるい」を掲げ、子育て環境の整備に力を入れています。今のみなさんの結婚や子育てに関する考えをお聞かせください。

吉田…子育てというお金がかかるイメージ。2人3人欲しいと思っても、経済的に叶わない人が多いと聞いたことがあります。経済的なサポートがあると良いのではないのでしょうか。

町長…結婚感についてどうですか？若い女性の方が地方から都会へ出て行く現象が続いています。

吉田…都会に出て行くということは、働く場所が関係しているのではないのでしょうか。垂井町で結婚して住みたいと思うならには、働く場所や環境の整備が重要だと思います。

町長…これから人手不足がさらに加速して、ロボットや外国人労働者を雇用しないと、維持できなくなってきました。人口については、昨年垂井町では、1200人の子どもが生まれましたが、なかには2桁しか生まれていない自治体もあります。垂井町では昭和50年に446人、平成17年に264人が生まれていて、当時と比べると大幅に減っています。

いかに人口減少が深刻であるかみなさんも知っておいてください。

今回みなさんの考えや意見を聞いて、みなさんが住み続けたいようなまちにしていなければならぬと改めて感じましたし、みなさんにはそれぞれの夢に向かって前進してもらいたいです。今後の活躍を期待しています。本日はありがとうございます。

少子高齢化が進んで、同じ悩みを共有できる人も少なくなってくると思うので、その人たちの受け皿があると子育てしやすい環境になると思いますし、結婚・出産したい人も増えるのではないかと思います。

船濱…子育てで一番気がかりになるのはお金の面です。日本全体でもサポートを厚くしようという動きがありますが、物価も上がっていて経済事情に左右されていると感じます。結婚に関しては、基本的にこの地域では名古屋で働くという印象が強いですが、その点垂井町は電車で名古屋に通うことができるので、住みやすいところだと思います。

将来の夢

頑張っていること

町長…将来なりたい職業や、今、夢に向かって頑張っていることはありますか？

永井…大学の経営学部で勉強していて、将来はPRする仕事がしたいと考えています。現在もイベント会社でアルバイトをしています。人と関わるのが楽しいですし、自分の作ったPR動画で人を笑顔にしたいと思っています。

小林…私の将来の夢は、幼児教育や保育に関わることです。保育実習も垂井町内のこども園で経験させていただきました。経験してみても、私の声かけで子どもの行動が変わっていくのが嬉しいですね。子どもたちが頼られる存在になりたいし、このまちが好きだなと思うてもらえるような教育ができるようになりたいです。

清家…私は大学で工学部に所属していて、将来の夢はロボットエンジニアです。

近年、どの業界も人手不足と聞きます。例えばレストランの配膳ロボットが活躍しているのを見ると、自分も携わりたいと思いました。

